

慶應義塾に関連した出版物や教職員の最新著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

二大政党制による政治がなぜ生み出されたのか？

『アメリカの政党政治』

— 建国から250年の軌跡 —

岡山裕（法学部教授）著
中公新書 / 880円（2020年10月）



今年1月、アメリカの新大統領に民主党のジョー・バイデン氏が就任した。アメリカ独特の大統領選挙は、日本でも毎回大きな話題になるが、そこで争う民主・共和の二大政党の在り方も日本や欧州の政党政治とはかなり異なる性格を持っている。例えばドナルド・トランプ前大統領は共和党の政治家ではないのに同党の大統領候補になり当選した。著者は、二大政党を、キャンペーン場に張られた2つの巨大なテントに例える。19世紀に生まれた二大政党が政治全体を「緩やかに広く覆う」2つのテントとして「制度化」していく歴史を振り返りつつ、アメリカ政治史に新たな光を当てている。

教職員執筆の最新刊

● 柘植尚則（文学部教授）著

『近代イギリス倫理思想史』

ナカニシヤ出版 / 3800円（2020年11月）

● 土屋大洋（総合政策学部教授）著

『サイバークレートゲームー政治・経済・技術とデータをめぐる地政学』

千倉書房 / 3400円（2020年12月）

● 今井むつみ（環境情報学部教授）著

『英語独習法』 岩波新書 / 880円（2020年12月）

● 一ノ瀬友博（環境情報学部教授）編著

『生態系減災 Eco-DRR 自然を賢く活かした防災・減災』

慶應義塾大学出版会 / 3000円（2021年1月）

● 平田栄一朗（文学部教授）、北川千香子（商学部准教授）ほか編著

『文化を問い直すー舞台芸術の視座から』

彩流社 / 3000円（2021年2月）

● 田村次朗（法学部教授）ほか著

『リーダーシップを鍛える「対話学」のすゝめー誰も知らない対話力の秘密』

東京書籍 / 1500円（2021年2月）

慶應義塾この一冊

『アカデミック・スキルズ
プレゼンテーション入門』

学生のためのプレゼン上達術』

大出敦（法学部教授）編著

慶應義塾大学出版会 /
1400円（2020年8月）



初めてプレゼンテーションに臨む大学生、また大学入学前にプレゼンテーションの基本を予習しておきたい高校生などを対象としたプレゼンテーション入門書。大学での「アカデミック・プレゼンテーション」は高校生の学習発表とも、社会人が行うビジネス・プレゼンテーションとも異なり、独特のスキルとそのため準備が求められる。本書はアカデミック・プレゼンテーションに必要なスキルを、基礎・準備・実践の3部に分けてわかりやすく解説。これ一冊を熟読すれば、大学生としてのプレゼンテーションを行う際に必要なノウハウをほとんど得ることができよう。